

旅行取扱状況の概観（平成17年2月分）

海外旅行の取扱額をみると、団体旅行は一般団体、学生団体がともに取り扱い好調で大きく前年実績を超え、主催旅行もホリデイの好調により2桁の伸びで前年実績を上回り好調に推移した。また、個人旅行も取り扱い堅調で前年並み実績を確保し前月に引き続いての前年比プラスとなった。このため、海外旅行合計は前年比116.5%と大きく前年実績を上回り、好調な取り扱いであった。

国内旅行の取扱額をみると、団体旅行では一般団体、学生団体がともに取り扱い低調で前月に続いての前年比マイナスとなったが、主催旅行はメイトが取り扱いを伸ばし2桁の伸びで前年実績を上回ったため、前月に続いての前年比プラスと好調に推移した。個人旅行は、宿泊券、航空券の好調により大きく前年実績を上回った。この結果、国内旅行合計は前年比107.3%と取り扱い好調であった。

国際旅行も取り扱い好調で、前年比108.1%と3ヶ月連続の前年実績オーバーで推移した。

2月の総取扱額は、国内旅行、海外旅行、国際旅行がいずれも取り扱い好調で、前年比110.3%と2桁増で前年実績を上回り、前月に続いての前年比プラスとなった。

1. 海外旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、イベント関係の取り扱い好調により、再び前年比プラスとなった。学生団体は修学旅行の取り扱いが好調で大きく前年実績を上回り、12ヶ月連続で前年実績を上回っている。方面別の取り扱いでは、中国、インドネシアを除くアジア各方面、ヨーロッパ、ハワイ、オセアニアの取り扱いが好調であった。

(2) 主催旅行

ホリデイは、前年比117.9%と前月に引き続いて好調に推移した。方面別取り扱いは、前月と傾向は変わらず、中国、アジア、ハワイが好調であった。アジアでは台湾、香港が著しく増加したが、タイ(前年比41%)およびマレーシア(前年比47%)はスマトラ沖地震の影響から未だ回復していない。

2. 国内旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、イベント関係の取扱いは好調であったがその他団体の取り扱いが伸び悩み、大きく前年実績割れとなった。学生団体も、修学旅行およびスキーを中心とした校外学習の取り扱いが低調で前年実績には届かず、前月に続いての前年比マイナスとなった。

(2) 主催旅行

メイトは取り扱いを大きく伸ばして前年比120.7%と前年実績を大幅に上回り、前月に引き続いての2桁増での前年比プラスと好調に推移した。方面別では、北海道、九州、沖縄と方面が前月に引き続いて好調であった。

(以上)